

この地で倒れた異国の死者たちの無念の声に耳を傾けよう！

中国人俘虜殉難者

合同慰霊実行委員会

発起趣意書（1953年）

かつての日本は、日華戦争において中国人民に対して多大の迷惑を及ぼして参りましたが、近來戦争の危機感に迫られるにつけ、われわれは軍国主義の引起した罪悪に対し、あらためて民族的責任を痛感すると共に、深きざんげ感をよびさまされるものであります。
（中略）秋田県花岡事件犠牲者の如く、四百十六名（実数は四百十九名）の遺骨が現に尚無縁のまま放置されている事実を知るに至っては、今更の如く戦争のあと始末について日本人の責任を痛感すると共に、これを放置することは人道上からも到底黙過し得ません。
（中略）人道・平和・友好の大精神に立脚し、国民総施主の建前に立ち広く国民各界各層の御協賛を得て、（中略）慰霊の大法要を執行し、続いて花岡その他の遺骨を中国に送り届ける事業を進めたい所存であります。
（後略）

発起人

日本赤十字社、日本中国友好協会、総評、東京華僑總會、褒寺、日本仏教連合会、他8団体

集いプログラム

9:00▶遺族らと靴並べ

11:00▶庭儀開始（雅楽隊先導、遺族が身内の遺影を持って行進）

11:30▶集い開始

庭儀到着、献花、宗教者勤行、主催者挨拶、遺族及び在日の訴え、追悼舞踊と歌曲演奏（東方文化芸術団）、「大阪・花岡国賠訴訟」報告、決意表明、アピール、閉式挨拶

13:00▶集い終了

東方文化芸術団



田 偉（团长）



曹宝光



江村結



邵治軍



田子誠夫

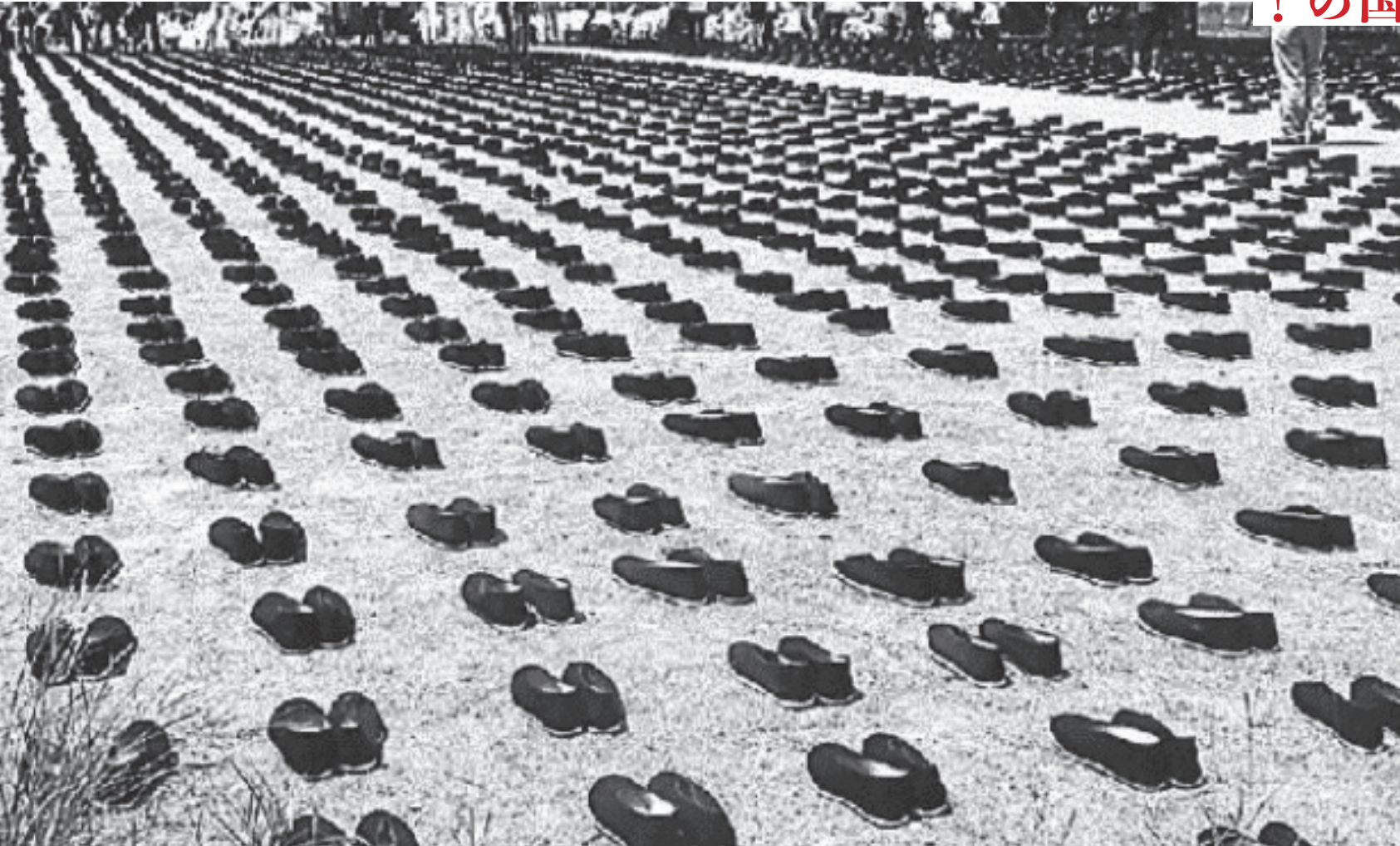


柴崎真光

問い合わせ先「集い実行委員会」
TEL: 080 1142 2515 E-Mail: ninhao@mrc.biglobe.ne.jp

芝公園の最寄駅●都営三田線「御成門」徒歩5分
都営浅草線・大江戸線「大門」徒歩5分
都営大江戸線「赤羽橋」徒歩2分／JR「浜松町」徒歩12分

「靴並べ」——6830足の靴を並べることの意味
中国では身内が亡くなると、遺族が靴（布靴）を用意し、それを死者に履かせて弔う習慣がある。しかし、異郷で無念の内亡くなった強制連行犠牲者は、その靴を履くことさえかなわなかった。数字としての「6830」ではなく、「一人一人の命が積み重なった「6830」人の命



不条理に憤る死者たちよ！今こそ、甦りて我らと共に歩まん！